

4月29日(金・祝) 加太さかな線に観光列車がデビュー！ 「めでたいでんしゃ」が泳ぎだす

南海電鉄（社長：遠北 光彦）では、平成26年11月から、加太観光協会および磯の浦観光協会と共同で、加太線沿線の魅力を発信するプロジェクト「加太さかな線プロジェクト」を進めてきました。

そして今般、ついに同プロジェクト初の観光列車「めでたいでんしゃ」が4月29日（金・祝）から運行を開始します。車両の内外に、加太を代表する海の幸「鯛」のモチーフを散りばめたかわいいう電車です。

ぜひ加太さかな線で、めでたい旅にお出かけください。

1. 「めでたいでんしゃ」の概要

加太線ワンマン車両（7100系2両1編成）の内外装に装飾を施し運行します。「加太の鯛」と「淡嶋神社の縁結び」をイメージした、乗るだけでおめでたい気分になる＝「おめでたい」、ずっと乗っていたくなる＝「愛でたい」電車です。

- (1) 運行開始日：平成28年4月29日（金・祝）
- (2) 運行区間：和歌山市駅～加太駅間 ※和歌山港線・多奈川線を運行する場合があります。



外装イメージ



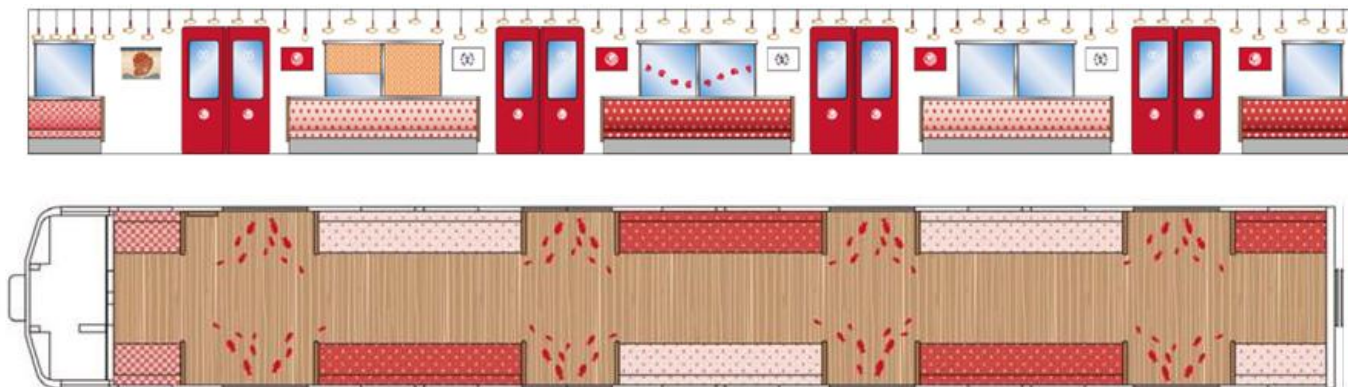
内装イメージ

めでたいでんしゃ
medetai train

(3) 外装デザイン：「加太の鯛」をイメージしたうろこ柄をシンプルに表現しました。



(4) 内装デザイン：優しさと温かみを感じる車内。さかなが車内を泳ぐイメージを表現しました。



縁起物（加太のめで鯛／加太のむす雛）

「加太の鯛」と「淡嶋神社の雛人形」をイメージした木彫りの飾りを車内のドア横に1つずつ設置します。触るとめでたいことが起こるかも！？

※「加太のめで鯛」は和歌山市側車両、

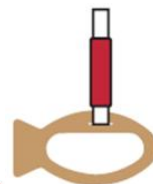
「加太のむす雛」は加太側車両に設置

※縁起物は淡嶋神社でご祈禱いただく予定です



つり革

木の素材でできたさかな型のつり革。車内をさかなが泳ぐイメージです。



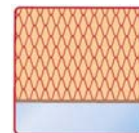
座席シート

鯛の模様を散りばめた3種類のオリジナル柄です。



ロールスクリーン

さかなを獲る網をイメージした模様のスクリーン（カーテン）です。



床

優しさと温かみを感じる木目調の床。入口ではさかなが泳いでお出迎え。

ひみつ

各車両に1つ「ハート型のつり革」が、また外装や座席シートの鯛模様の中に「ハートのうろこ」があります。探してみてください！

(5) 特設サイト：「めでたいでんしゃ」の特設サイトを公開します。ぜひご覧ください。

<http://www.nankai.co.jp/kada/medetai/>

2. 加太さかな線プロジェクトとは

南海電鉄では平成26年11月から加太観光協会および磯の浦観光協会と共同で、「おいしいさかな」をはじめとしたグルメや風光明媚な景色、温泉など加太線沿線の魅力を発信し、加太までの鉄道旅行の「楽しみ」や「期待感」を地域の皆さまとともに創り上げる「加太さかな線プロジェクト」に取り組んでいます。

これまでに、加太線各駅（東松江駅～加太駅）への観光駅名看板の設置、加太駅係員のオリジナル前掛け着用でのお出迎え、地元と連携した新名物の開発、加太おすすめ品のPR、集客キャンペーンなどを実施してきました。

以 上